

競技と応援に若さあふれる熱戦
横越中学校で体育祭

9月7日、横越中学校グラウンドで、「光れ涙 つかめ勝利 ～みんなで築け 友情のキセキ～」をスローガンに、体育祭が開催されました。

体育祭の準備に、一部の生徒は夏休み前から、多くの生徒は2学期が始まると同時に取り組み、昼休みや放課後に一生懸命に応援などの練習を行いました。

340名の生徒たちは赤、青、黄の3連合に分かれ、仲間や家族などの応援を受けながら、リレーや大縄跳び、綱引き、騎馬戦などで汗を流し、若さいっぱい元気いっぱいの白熱した競技を展開。また、振り付けや歌などに工夫を凝らした応援を行い、声をからしながら仲間たちを励ましていました。みんなが協力して、最後まで若さあふれる熱戦を繰り広げていました。

体育祭の結果は、競技の部では黄連合、応援の部では青連合が優勝しました。



木の温もりいっぱい生まれ変わった校舎
横越中学校新校舎見学会

9月21日、横越中学校新校舎の見学会が行われました。老朽化に伴い昨年2月から改築工事が行われ、今年2月に校舎部分が完成し、授業が行われています。8月下旬に前庭の整備なども含めて工事が完了したため、新しく生まれ変わった新校舎を、住民の皆さんに見てもらおうと、住民向け見学会を企画。保護者や卒業生、以前勤務されていた先生などが訪れました。

カラー印刷された校舎案内のパンフレットを手にながら見て回り、職員に質問したり、カメラで撮影する姿も見られました。「以前と違ってきれいで明るくてうらやましい、木の温もりがあってゆとりがある」という感想が聞かれました。また、以前中庭にあった「希望と感謝の像」(1963年2月に村民一同寄贈)が、以前と変わらず残っていたことに、懐かしがる方もいました。



生涯スポーツとして人気急上昇
ニュースポーツを体験

9月21日、総合体育館と前庭の芝生を利用して、ニュースポーツカーニバルが開催されました。生涯スポーツとして普及しつつあるニュースポーツを紹介し、親しんでもらおうと始められたこの催しは今回で3回目。

スポーツチャンバラ・インディアカ・ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフなど、まだ聞きなれないスポーツばかりで、最初、参加者はとまどいながら競技を行っていましたが、誰でも楽しめるルールになっており、慣れてくると歓声を上げながら楽しんでいました。剣道場では骨密度測定や体力測定が行われ、優秀者には記念品が贈られました。一番人気はスポーツチャンバラで、「楽しい、またやってみたい」などの声を聞くことができました。今月21日からスポーツチャンバラの教室を開催します。詳しくは総合体育館からのお知らせをご覧ください。



絵本を通じて親子のふれあいを
「ブックスタート事業」絵本配布開始

町では、絵本を通じて親子のふれあいを深めてもらおうと、今年度からブックスタート事業を始めました。

乳児健診(3・7・12か月児)の際、健診会場である保健センターにブックスタートコーナーを設置。ボランティアの方々が3か月児の保護者を対象に、絵本の紹介、子どもたちとの遊び方などを説明します。7か月児に、おすすめの絵本を2冊プレゼントします。

配布初回となった8月27日の乳児健診では、5名のスタッフが20組の親子に、絵本を開きながら子どもとのふれあい方や事業の内容、手や顔などを使った「わらべうたあそび」などを紹介しました。

保護者の皆さんに、「絵本を道具に赤ちゃんとおふれあうことが大切。絵本が汚れたり破れたりすることを気にしないで、赤ちゃんと一緒に楽しく遊んでほしい。無理に絵本を読んで聞かせるのではなく、一緒に過ごす時間を楽しんでほしい」と話していました。



町内の芸能クラブ、愛好者が大集合
賑やかに第2回社会福祉芸能まつり開催

9月23日、総合体育館アリーナで、社会福祉芸能まつりが開催され、約500人が集まりました。

唄や踊りなどの元気な高齢者たちの各団体は、生活の中の楽しみ・生きがいとして多くの人たちに親しまれており、発表機会の拡大と、みんなで楽しめる行事を求める住民の声が多いことから、町社会福祉協議会・町老人クラブ連合会の共催により昨年開催されています。

お揃いの着物や色鮮やかな衣装を身にまとった出演者たちは、日頃練習してきた歌や踊りを披露。ゲストとして迎えられた歌手の池田一男さん、吉田恵美さんによる歌謡ショーもありました。熱演・熱唱のたびに大きな声援や拍手が贈られ、会場内は熱く盛り上がりました。出演者から「舞台が広くて楽しく踊れた」、観客から「こういう催し物はいいことで、応援したい」という感想が聞かれました。



唄あり踊りあり
の楽しい3時間
でした。

料理を通じて友だちづくり
夏休み!! かめよこキッズ料理教室

8月22日、保健センターを会場に、横越町中央子どもセンターと亀田町教育委員会の共催により、「かめよこキッズ料理教室」が開催されました。

この教室は、ふだんはあまり交流のない町外の子もたちと、料理を通して友だちの輪を広げようと、今年初めて企画され、両町の小学2年生から4年生まで合わせて30名が参加。子どもたちは、町の管理栄養士や食生活推進委員の協力を得ながら野菜を切ったり、白玉づくりを楽しみ、協力しながら料理を作りました。

今回のメニューは、スパゲッティミートソース、ふわふわたまごのスープ、きのこ夏野菜のサラダ、フルーツ白玉パンチの4品。楽しく会話をしながら、自分たちが作った料理に舌鼓を打ちました。

子どもたちから「違う学校の人と友だちになれて楽しかった。色々な料理を作って面白かった。家でも作ってみたい。また参加したい」という感想が聞かれました。

